

第六十四回帝國議會
衆議院

少年教護法案委員會會議錄(速記)第三回

會議

昭和八年二月十七日(金曜日)午後一時三十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 牧野 賤男君

理事蔭山 貞吉君 理事松田 正一君

中野勇治郎君 田中喜代松君

丸山 浪彌君 星島 二郎君

中野種一郎君 河上 哲太君

荒川 五郎君 田中祐四郎君

青木 亮貫君 栗原彦三郎君

同月二日委員前田房之助君辭任ニ付其ノ補闕トシテ作田高太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月四日委員田子一民君辭任ニ付其ノ補闕トシテ田中喜代松君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月十五日委員後藤脩君辭任ニ付其ノ補闕トシテ佐藤洋之助君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月十七日委員作田高太郎君及田中祐四郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ山井儀重君及原

夫次郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月四日古物商取締法中改正法律案(山本芳治君外二名提出)及出版權法案(原夫次郎君外六名提出)ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ

出席政府委員左ノ如シ

內務參與官 勝田 永吉君

社會局長官 丹羽 七郎君

司法政務次官 八並 武治君

司法參與官 岩本 武助君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

少年教護法案(荒川五郎君外六十六名提出)

○牧野委員長 是ヨリ開會致シマス、前會政府ニ請求致シテ置キマシタ關係法律ノ條文ノ回付ガアッタノデアリマスガ、之ニ付テ少年教護法案ノ質問ヲ續行シタイト思ヒマス

○中野(種)委員 大體ノ質問ヲ簡單ニ致シマス、本案ハ近來社會狀態ガ思想上ニ及ボシマスル變化カラ、少年ニ對シマシテモ多大ノ惡影響ヲ與ヘテ居ルノデアリマス、不

良少年ガ激増致シテ居リマシテ、社會國家ノ爲ニ憂フベキ現狀ヲ顧ミマス時ニ、之ヲ救済シ、又ハ少年ノ不良化セント致シマスル者ヲバ、未然ニ防グコトガ最モ急務デア

ルト云フヤウナ考カラ、本案ヲ提出サレタヤウニ思ヒマスルガ、此點ニ於キマシテ、司法省ニ第一ニ御伺致シマスルノハ、現行ノ少年法ノ機關デアリマスル少年法竝ニ感

化法デ、十分ニ其目的ガ御達シニナッテ居ルヤウニ御考デアリマセウカ、若クハ何等カ缺陷ガアリマスルカラ之ヲ補フベキ必要ガアルト、司法省ニ於テハ御考ニナルノデアリマセウカ、此點ニ付テ第一ニ御伺致シ

タイト存ジマス、又少年教護法ヲ拜見致シマスルト、兒童ヲ保護スル根本精神トシテ、現行ノ少年法竝ニ感化法ガ兩立致シマスル

モノトシテ、滿十四歲以上ハ少年法、滿十四歲以下ハ感化法ニ依テ取扱フコトヲバ、司法省デハ御認メニナル御意思ガアルノデアリマスカ、此二ツノ點ニ付キマシテ先ヅ

第一ニ御尋ヲ致シタイノデアリマス
ソレカラ現在ノ感化院ノ數ハドレ位アリ

付託議案

少年教護法案(荒川五郎君外六十六名提出)
未成年者飲酒禁止法中改正法律案(丸山浪彌君外十二名提出)
古物商取締法中改正法律案(山本芳治君外二名提出)
出版權法案(原夫次郎君外六名提出)

マスカ、公私若クハ代用、ソレカラ之ニ要シマスル經費、現行法ノ經常費ハ六分ノ一、臨時費ハ二分ノ一ノ補助ニ相成ッテ居リマスルガ、少年教護法ノ本案ニ依リマス、一ハ四分ノ一、一ハ二分ノ一ト云フコトニ、經費ガ相當増額スルモノト看做シマスガ、假ニ本案ガ通過スルモノト致シマスレバ、相當經費ノ嵩ムモノト存ジマスガ、是等ニ對シマスル教職員ノ國庫負擔ニ屬スルモノガ、若シ少年教護法ニ依リマスルトドレ位ノ費用ガ増額スルノデアリマスカ、是等ノ三點ニ付キマシテ先ヅ第一ニ御伺致シタイノデアリマス

○八並政府委員 司法省ト致シマシテハ、只今ノ御質問ニ對シマシテ、第一ノ點ノ少年教護法ヲ設置シナカッタナラバ、現在ノ少年法デハ缺陷ガアルノデハナイカ、サウ云フ意味ノ御質問ト承ッタノデアリマスガ、私等ノ見ル所ニ依リマスレバ、少年法ハ實施サレテ居リマスガ、マダ全國ニ普及致シテ居ラスノデアリマス、御承知ノ通り少年審判所ノ如キモノモ、東京ト大阪ダケニ今

日ヤッテ居ルノデアリマス、本年度ノ豫算ニ於テ名古屋ノ方ニ設置ヲ致スコトニナッテ居リマスガ、吾々ノ理想ト致シマシテハ各控訴院管内ニ全部之ヲ設置致シマシテ、遺漏ナクヤリタイト云フ爲ニ色々ノ考ヲ有ッテ居ルノデアリマスガ、豫算ノ關係上遺憾ナガラ實ハ出來ナイノデアリマス、本年ノ豫算ヲ組ム時ニ於キマシテモ、名古屋ト福岡ヲ出シマシテ、少クトモ名古屋ト福岡ダケハ置キタイ、理想ト致シテハ全國ニ置キタイノデアリマスガ、最低限度ニ於テ本年ハ二箇所ダケヲ置キタイト云フ考ヲ以テ大藏省ニ交渉致シタノデアリマスガ、不幸ニ致シマシテ財政窮乏ノ際デアルカラト云フコトデ、名古屋ダケハ認メラレマシテ本年度ノ豫算ニ載ッテ居ルノデアリマス、サウ云フ次第デアリマスカラ、司法省ト致シテハ全國ニ順次之ヲ増設致シマシテ、少年ノ取締リ或ハ感化ヲ致シマスルナラバ、遺漏ナク行ケルモノダト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、特ニ御承知ノ通り保護處分ノ如キハ少年法ノ第四條ニ規定シテアリマスルガ、訓戒ヲ加ヘルトカ、學校長ニ訓戒ヲ委託スルトカ、或ハ少年保護司ノ觀察ニ付スルトカ、感化院、矯正院ニ入レルトカ、病院ニ送致又ハ委託スルトカ、色々ノ保護ノ

方法ヲ執ッテ居ルノデアリマス、ソコデ少年法ノ第四條ノ適用ガ十分出來マシテ、全國ニ此施設ガ出來ルト云フコトニナルナラバ、相當ナ保護ガ出來ルモノデアルト吾々ハ考ヘテ居リマス、併ナガラ唯遺憾ナガラ經費ノ關係上今日ハ出來テ居ラスノデアリマスカラ、今日デハ遺憾ノ點ガ多アルモノト私ハ考ヘテ居リマス、ソレカラ後ノ御質問ハ大體私ノ方ヨリカ内務省ノ方デ御答シタ方ガ宜イノデハナイカト云フ風ニ考ヘマス、ドウカ内務省ノ方ヘ御願致シマス

○中野(種)委員 ドチラデモ宜シウゴザイマス

○丹羽政府委員 只今ノ御質問中内務省ニ關係シタ點ヲ御答致シタイト思ヒマスガ、第一ハ現行感化法ナリ少年法ナリノ執行ニ依テ、現在ノ不良兒童等ノ教護ニ遺憾ナキヤト云フ御尋デアリマスガ、少年法ノ關係ハ只今司法省カラ御答ニナッタガ感化法ノ關係ニ付テ申上ゲマスレバ、御承知ノ通り感化法ハ既ニ其制定以來非常ニ時ヲ經テ居ルヤウナ次第デアリマス、三十年餘モ經過ヲ致シテ居リマス、其間多少ノ改正ハ行ハレマシタケレドモ、マダ現在ノ情勢ニ應ジテ不十分ナル點ガアリト認メテ居ルノデアリマス、ソレハ色々經費ノ關係モアリマス、

現在ノ感化院ノ收容力等モマダ十分デナイ

ト云フヤウナ點、隨テ經費ニ關スル點モゴザイマス、是ハ國費ノミナラズ地方費ノ關係モアリマス、又其他ノ點ニ付テモモウ少シ考ヘナケレバナラス點ガアリマス、其他感化法ノ趣旨ノ點ニ付テ、考究スベキ點ガ大分アルト考ヘテ居リマス、其點ニ付テハ目下折角調査考究ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソレカラ經費ノ比較ノ點ニ付テハ、現在ノ感化院ノ現況ヲ申シマスルト、國立ガ一ツ、道府縣立ガ三十九、代用感化院ガ十二、私設感化院ガ十箇所アル譯デアリマス、サウシテ經費ノ總計ハ七十三萬餘圓ニナッテ居ルヤウナ次第デアリマス、現在ノ規定デハ經常費ニ對シ六分ノ一、臨時費ニ對シテ二分ノ一ノ補助ヲ致シテ居ル譯デアリマスルガ、是ガ此法案ニアリマスヤウニ四分ノ一マデ補助ノ率ヲ上ゲマスルト、假ニ現在ノ經費ヲ基礎ト致シマシテ勘定致シマシテモ、ソコニ相當ノ増額ガ必要ト相成ルヤウナ次第デアリマス、其計算ニ付キマシテハ、御手許ニ差上ゲテゴザイマス所ノ「少年教護法案ニ依ル感化院ニ對スル國庫補助所要額推算」是ハホンノ推算ヲ致シタノデアリマスガ、ソレニ詳細ニ認メデアリマスカラ御覽ヲ願ヒタイト思ヒ

マス

○荒川委員 私カラ申上ゲナクテモ、司法、内務専門ノ當局ガオイデニナリマスルガ、一寸此少年法ト、ソレカラ感化法、即チ此度出シマシタ少年教護法トノ區別ヲ、賢明ナル皆様ハ無論能ク御承知ノコトデアリマスガ、一應申上ゲテ置イタ方ガ宜カラウカト思ヒマスノハ、只今八並司法次官ノ御説明デ、少年法ガ行ハレバ少年教護法ハ無クテ宜イヤウナ口吻ガアリマシタ、其點ヲ明ニシテ置ク必要ガアラウト思ヒマス、少年法ト感化院法、新案デアアル少年教護法トハ全ク兩立シテ居ルモノデ、今日モ亦兩方ガ行ハレテ居ルノデアリマス、ソレヲ互ニ領域ヲ侵スデヤナイカ、少年法ガ普及スルニ付テハ、少年教護法ガ或ハ邪魔ニナルトカ云フヤウナ御考ガ基礎觀念ニ於テアルト、大變ナ間違デアラウト思ヒマスカラ、其大要ヲ一通リ申上ゲマス

此少年法ト今日ノ感化法トノ區別ハ、第一ニ根本觀念ニ於テ少年法ハ刑事政策ニ基クモノデアリ、少年教護法、感化法ハ社會政策ニ基イタモノデアアル、此點ガモウ非常ナ間違ガアルノデアリマス、ソレカラ之ヲ扱フ主義ノ上ニ於テ、少年法ハ懲治ヲ目的トシテ居リ、感化法、少年教護法ハ教育ヲ目的

トシテ居ル、懲治ト教育ト是亦全ク其目的ヲ異ニシテ居リマス、ソレカラ組織ノ上ニ付テ、少年法ハ監視ヲ以テ行ウテ居リ、ソレカラ少年教護法ハ家庭教育のニ之ヲ組織致シテ居ル、其監視ト家庭の組織ノ下ニ於テ行フ、主張ノ根本ガ違フノデアリマス、ソレカラ手段ノ上ニ於テモ、少年法ハ刑事政策ニ基ク結果トシテ自由ヲ幾分拘束致シマス、ソレカラ少年教護法ハ全ク之ヲ自由ニ致シテ居リマス、其處ニ人ノ取扱上大ナル區別ガアルノデアリマス、ソレカラ最モ大ナル區別ハ年齢ノ點デアリマシテ、刑法上犯罪能力ヲ認メテ居ル者ハ少年法ニ依ル、即チ十四歳ヲ以テ限界トシテ居ル、其刑法ノ犯罪能力ヲ認メナイ十四歳以下刑法ノ目的トナラザル者、即チ教育ノ部面ニ入ルベキ者、是ガ即チ感化法、少年教護法ノ支配スル所デアリマス、如何ニ今カラ各控訴院管内ニ少年法ガ實施セラレテモ、少年教護法ニハ何等ノ損益スル所ナク、少年教護法ガ行ハレテモ少年法ナルモノニ何等影響ヲ及ボスモノデナイコトハ、以上ノ區別ヲ申上ゲレバ分ル所デアリマス、所ガ此少年教護法ヲ作りマシタル精神カラ言ヘバ、尙ホヨリ以上ニ少年法ノ範圍ハ寧ろ擴ガルノデアリマス、ト云フノハ

少年教護法ハ從來ノ感化法デ心配セラレテ居ッタ權利拘束、ソレモ從來ヨリハ之ヲ少クシヨウ、斯ウ云フ建前カラ本案ヲ立テ、居リマス、ソレカラ少年ノ義務教育ヲ受クル權利ヲ、此少年教護法デハ認メヤウト云フノガ、マルデ教育のデゴザイマシテ、今日デハ盲啞ノ如キモノモ、此教育ヲ受ケタ者ハ、不完全ナガラ之ヲ國民教育ヲ受ケタ者ト看做スコトニナツテ居ル、ソレヨリハ餘程此感化院法ハ、教育ノ目的ガ達セラレテ居ルノデアリマスカラ、此學校、即チ少年教護院ヲ修業シタ者ハ、義務教育ヲ受クルト同ジヤウニ、即チ認定權ヲ其責任者ニ與ヘル、サウシテ彼等ハ他日國民教育ヲ受ケタ者トスルト云フコトハ、世ノ中ニ立ッテノ非常ナ明ルサヲ覺エテ、善人ニ還リ得ル、其處ニ刑事政策ト社會政策トハ非常ニ大ナル區別ヲ認メテ居ルノデアリマス、ソレカラ少年ノ鑑別ヲスルト云フ機關ヲ設ケヤウト云フノデアリマスガ、ソレハ主トシテ十四歳以下ノ兒童ヲ醫學心理的ニ能ク調べマシテ、サウシテ此從來ノ感化法ノ缺點ヲ償ウテ、サウシテ適性教育ヲ致サウ、適性分類ノ教育ノ出來ルヤウニシヨウト云フノガ、最モ學理的ニ力ヲ盡シタ所デゴザイマス、ソレカラ其鑑別所ノ——保護所ノ機能

ハ、是ハサウ云フモノヲ置キマシテモ、司法省ノ心配セラル、少年審判所ヤ保護士ノ職能ニ付テ、寧ろ補助的ノ效果ヲ致スモノデアアルノデアリマス、隨テ此法ヲ實施致シマスルト、司法省管轄ノ少年法ノ普及ヲ促スヤウニナルノデアリマス、此點ガ司法ノ刑事政策トシテモ、寧ろ此案ヲ歡迎セラルルコトガ、即チ司法省ノ少年ニ對スル政治ヲ一層完全ニシ得ルモノデアアルノデアリマス、此點ハドウゾ司法當局ニ於カレテモ、私カラ申上ゲル迄モナイコトデアリマスガ、十分ノ御諒解ヲ有ッテ、御審議ヲ願ヒタイト思ヒマス、過日第二回委員會ノ時ニ申上ゲマシタ通り、今ノ政府當局ニ於テハ、左様ナ確執ハアリマセスガ、從來何カ一ノ法令ガ出ルト、必ズ自分ノ領分ヲ侵サレハセヌカト云フヤウナコトガ、往々心配ニナルノデアリマスガ、國家ノ大事ナ政策ヲ行フニハ大處高處ヨリ見テ、假令幾分カ自分ノ領分ハ縮メテモ、國民ノ幸福ニナルコトハ……

〔委員長退席、蔭山委員長代理著席〕

○蔭山委員長代理 荒川君、一寸待ッテ下サイ——只今委員長ガ離席致シマシタノデ、私ガ暫ク代リマス——荒川君ニ一寸申上ゲテ置キマスガ、司法當局ハ丁度今居ラヌヤ

ウニナリマシタカラ、皆サンニ説明スルコトハ成ベク簡便ニシテ貰ッテ、又次ノ機會ニシテ貰ッテ、内務省ニ關スル御質問ヲ願ヒタイト存ジマス

○荒川委員 承知シマシタ、兩者ノ區別ヲ説明スル勢ヒ以上ノコトヲ申シマシタ、斯様ニ多少ノ權利ハ侵サレテモ、ソナコトニ拘ハルベキコトデハナイノデアリマスノニ、況ヤ前來御説明申上ゲルガ如ク、少年法ノ普及ヲ作振スルニ效果ヲ來スノデアリマスカラ、其點ハドウゾ虛心坦懷ニ御審議アラシコトヲ熱心ニ希望致スノデアリマス

○蔭山委員長代理 成ベク内務省ニ關スル御質問ヲ御願致シタウゴザイマス

○星島委員 司法當局ハドウシテ出ナイノデアリマスカ

○蔭山委員長代理 私ノ前ニ委員長ニ御斷リシテ置イデ出テ行ッタノデアリマスカラ、私ニハ分リマセス

○中野(種)委員 内務省ニ關スル先刻ノ御答辯ニ對シテ、ソレニ付テ伺ッテ見タイト思ヒマス、内務省ノ方面デハ、現在ノ感化法ガ時代ノ現況カラ見テ、私共眞ニ社會政策、行政保護教育ヲ最モ必要トスル此感化法ニ付テ、相當改正スルノ要アリヤ否ヤト

云フコトヲ御伺フ致シマシタ所ガ、内務省ニ於テハ目下考慮研究中デアッテ、相當改正ヲスル要點ガアルヤウニ認メラレルト云フヤウナ御意見デアリマシタガ、假ニ本案ガ——前途通過スルトセザルハ未知數ノモノデアリマスガ、内務省自體ト致シマシテモ、將來何トカ時代ニ相應シタ、實際ノ感化法ニ改正シナケレバナラスト云フコトニ、御著手シテ居ラレルト見テ宜シイノデアリマスカ

○丹羽政府委員 感化法ノ改正問題デアリマスガ、其改正スベキ點ガアルト云フコトヲ以テマシテ、折角研究ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、マダ具體的ニ成案ヲ得ル所マデ行ッテ居ラヌノデアリマス、併シ研究ハ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

○中野(勇)委員 然ラバ 成案ヲ得ラレレバ、内務省トシテモ、相當ニハ改メナケレバナラスト云フ御考ヲ御有チナノデアリマスカ

○丹羽政府委員 成案ヲ得マスレバ、之ヲ改メルト云フコトニ進ンデ行カナケレバナラスト考ヘテ居ル次第デアリマス

○中野(勇)委員 私ハ質問ノ通告ハ致シテアルノデアリマスケレドモ、只今戴キマシタ各參考資料ヲ調査致シマシタ上ニ質問ワ

致シタイト思ヒマスカラ、質問ヲ保留シテ置キマスガ、唯此場合一言内務省ニ御伺シテ置キタイノハ、先刻中野種一郎委員カラモ御尋ガアリマシタガ、本案ニ對シテ内務省ノ態度ハ如何デアルカ、私ハ司法省ハ大體反對ノ意嚮ヲ有シテ居ラレルヤウニ仄ニ聞イテ居ルノデアリマスガ、内務省、殊ニ社會局ハ、此荒川君提出ノ教護法案ニハ非公式ニ同意シテ居ラレルト云フコトヲ噂ニ聞イテ居ルノデアリマス、若シ社會局ガ事實上ニ於テ此荒川君提出ノ教護法案ニ御同意ナラバ、寧ロ荒川君ノ提案ヲ待タズニ、内務省トシテ御出シニナッタラ如何デスカ、若シ私ノ見様ガ間違ッテ居ルナラバ、ソレハソレデ宜シイガ、ソコガ一寸内務省ト司法省ノ關係ガ、何故斯様ナ問題デ調和ガ取レテ居ナイカト云フコトヲ御尋シタイト思ヒマス、是ハ委員會デスカラ遠慮ノナイ所ヲ御答アラントヲ希望致シマス

○丹羽政府委員 只今ノ中野君ノ御質問ニ御答ヲ致シマスガ、内務省ニ於キマシテハ先程來御説明致シテ居リマスヤウニ、感化法ノ改正ト云フコトハ之ヲ致サナケレバナラスト考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ此教護法案ニ付テ、何カ内務省ナリ社會局ガ、非公式ニ同意ヲ與ヘテ居ルト云フヤウ

ナ噂ガアルガドウカ、斯ウ云フ御尋デアリマスルノデ、私モソレニ對シテハ極メテ虚心坦懷ニ御答ヲ致シタイト思フノデアリマス、其點ハ前回ノ委員會ニ於テ、提案者タル荒川君カラ御話ノアリマシタ通り、吾々ハ何等同意ヲシテ居ルトカ、相談ヲシテ居ルトカ云フヤウナコトハ一切ナイノデアリマス、隨テ御提出ニナリマシタ教護法案ニ對スル、内務省ノ態度如何ト云フコトノ御尋デアリマスルガ、此法案ヲ拜見致シマスルト、經費ノ關係モアリ、又各種ノ他ノ法律トノ關係モアリマスルノデ、十分ニ提案者ノ御意思ヲ承リ、御審議ノ模様ヲ拜見シタル上、態度ヲ定メタイト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

○中野(勇)委員 如何デセウカ、先刻申上ゲマシタ通りニ、折角戴イタ參考書ヲ十分一ツ拜見致シマシテ、御尋ヲシタイコトモ多々アルノデゴザイマス、他ノ諸君ニ御質問ガアリマシタラバ格別、左モアリマセヌケレバ本日ハ此程度デ散會セラレテ、改メテ御開會アラントヲ希望ト致シテ申上ゲタイト思ヒマス、是ハ他ノ委員諸君ニモ御相談ヲ申上ゲル次第デアリマス

○薩山委員長代理 異議アリマセヌカ——所デ皆サンニ御相談致シマスガ、尙ホ古物商ノ取締法ナリ、或ハ出版權法ニ付テ、兎ニ角口ダケヲ開ケテ吳レト云フ依頼ガアルデス、ソレデ次ノ案ニ付キマシテ、少シダケハヤッテ置カナケレバナラスト思フノデアリマスガ、如何デセウ

○中野(勇)委員 ソレデハ先程ノ私ノ言葉ハ訂正シテ宜シウゴザイマス、詰リ少年教護法ニ關シテハ、審議ヲ此程度ニ止メテ戴キタイト思ッタノデアリマス、他ニ澤山アル御提案ヲ御審議爲サルノハ、別ニ異議ノアル譯デアリマセヌカラ、訂正シテ置キマス

○薩山委員長代理 尙ホ申上ゲマスガ、私ハ是ハ委員長トシテハナイノデスガ、内務省、司法省ノ兩御當局ニ對シマシテ、中野勇治郎君ト同様ノ意見ヲ有ッテ居リマシテ、モウ少シ意見ヲ聽キタイ考デアリマスガ、肝腎ノ司法省ノ方ガ今居ラレマセヌノデ、少シク保留シテ居ルヤウナ次第デアリマス——尙ホ次ノ案ニ付キマシテハ、今提案ノ説明者ガ居ラレマセヌノデ……(丸山君ガ居リマス)ト呼フ者アリ(其點ニ付キマシテハ、他ノ委員會ノ關係モアッテ、未成年者ノ方ハ少シク先ニ延シタ方ガ宜イヤウナ委員長ノ御意見デアリマシタガ、如何デセウ

○丸山委員 ソレハ併シ委員長ハドウ云フ御考デサウ云フコトヲ御話ニナツカ知リマセヌガ、進行セラレルナラバ順序通りニシテ、委員長ノ自由ニ變更サレナイヤウニ希望致シマス

〔賛成「ト呼フ者アリ」〕

○蔭山委員長代理 今丸山君ノ意見ト中野種一郎君ノ意見トガ對立ノ關係ニアルノデスガ……

○中野(種)委員 先刻中野勇治郎君ノ述べラレタ少年教護法ニ關シテハ、新ニ資料ヲ頂戴シタカラ、次ノ委員會ニ延期サレタイトノ御説ニ同意致シマス、又今委員長ノ申サレタ、古物トカ出版トカノ問題ニ對シテモ、提案者ノ説明ダケヲ聞イタラドウカト云フコトニハ私共異議アリマセヌ、但シ未成年者飲酒禁止法案ニ對シテノ問題ハ一應先般承ツタノデアリマス、新ニ提案者ノ説明ダケヲバ此法案ニ付テ承ツタラドウカ、斯様なコトデ、中野勇治郎君ノ御意見ニ私ハ贊成シタノデアリマス

○中野(勇)委員 未成年者飲酒禁止法案ノ提出者タル丸山委員モ私モ、決算委員會ガ始ツテ居ルノデ、而モ直接關係ノアル事項ニ移ッテ居ルサウデアリマスカラ、甚ダ勝手ヲ申シマスガ、此程度デ全部御延期ヲ願ヒマ

スト都合ガ宜シウゴザイマス

○蔭山委員長代理 ドウデス、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ「ト呼フ者アリ」〕

○蔭山委員長代理 ソレデハ是デ散會致シマス、此次ハ二十日ノ午前十時ノ豫定デアリマス

午後二時十一分散會

昭和八年二月十七日印刷

昭和八年二月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社印刷所